

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月6日

協議会名:新見市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
備北バス(株)	市街地循環線 上市横見～石蟹	新たな利用者の掘り起こしを行うため、乗車人員30万人突破記念イベントとして、無料乗車デーやバスの乗り方教室、児童生徒のバスイラスト展などを開催して、利用促進を図った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 令和2年度に市街地循環バスの運行開始から乗車人員が30万人を突破したことを受け、記念のオリジナル「チョコQ」を作製して、記念イベントを実施するなどし利用促進を行ったが、利用者数101人/日の目標に対して95.87人/日にとどまった。	今後も引き続き利用促進事業などの啓発活動を行い、潜在的な利用者の掘り起こしを行う。 また、より一層の利用者の確保を行うため、利用者ニーズを活かした運行形態、ダイヤの見直しを行うことによって、持続可能な運行を実施する。